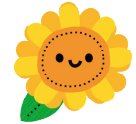


みんな

男女が互いに思いやり



いきいきと活躍できる社会の実現に向けて、 できることから始めよう！

「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがありますか？ 「難しそう」「自分には関係ない」と思っていないですか？ 実は、誰にでも身近でとても大切なことなのです。

まずは家庭や職場、学校や地域などの身近な場面で、男女が互いに思いやり、いきいきと活躍できる「男女共同参画社会」の実現に向けて考えてみませんか。



「男女共同参画社会」って何だろう？

「男女が互いにその人権を尊重しつつ、ともに喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる社会」のことです。

生物学的には男女に違いがあることを認めた上で、「男だからこうあるべき」「女だからこうあるべき」といった、性別の違いだけで固定的に役割を決めつける意識を見直して、誰もが自分らしい生き方ができる、そんな社会を目指します。

「第3次鴨川市男女共同参画計画」は、市役所1階の市政情報コーナーと3階の総務課秘書デジタル広報室で閲覧できるほか、市ホームページでもご覧いただけます。⇒



※ 裏面もご覧ください。

男女共同参画について考えてみよう！

家庭で

こんなふうに考えたことはありませんか？

- ★ 家事や育児、介護は女性が行うものだ。
- ★ 男性が洗濯や食事の買い物をするのは格好悪い。

これからは

家族一人ひとりの意見を尊重しながら、性別に関わりなく、家事や育児、介護など、家族全員で役割を分担しましょう。



学校で

こんなふうに考えたことはありませんか？

- ★ サッカーや野球は男の子のほうが向いている。
- ★ 男の子はブルーの持ち物、女の子はピンクの持ち物。

これからは

性別にとらわれない教育が必要です。「その子らしさ」を大切に、子どもの能力を伸ばすことを考えましょう。



職場で

こんなふうに考えたことはありませんか？

- ★ 育児休暇・介護休暇は女性取るものだ。
- ★ 現場仕事なら男性、事務仕事なら女性が向いている。

これからは

性別で役割を決めず、それぞれの個性や能力が十分に発揮できる職場にしていきましょう。



地域で

こんなふうに考えたことはありませんか？

- ★ 地域の役員は、男性が務めるほうが信頼感がある。
- ★ PTA 活動は、女性が中心となって行うものだ。

これからは

男性と女性が双方の視点を取り入れながら、お互いに協力して、よりよい地域づくりを進めていきましょう。

